

セカンドライフ支援事業

—No.1 さいたま市—

【事業の目的】

定年退職後や子育てを終えた後等の中高年齢層の市民が、その後の人生（以下「セカンドライフ」という。）において、継続して社会参加することを支援し、その活力の地域社会への還元の促進を目的としています。

【事業の内容】

「セカンドライフ」をいきいきと過ごしていただくために、ボランティア・就労・余暇活動等の地域活動に関する相談・情報提供を行う窓口として、令和元年9月に「セカンドライフ支援センター（愛称：り・とらいふ）」を開設しました。なお、早めにセカンドライフを考えていただくために、50歳以上の市民の方を利用者としています。

セカンドライフ支援センターの窓口では、相談者のお話を聞きながら希望に合った活動先を紹介するなど、センターで集約した情報を発信し、セカンドライフを活動的に過ごせるよう支援しています。

【事業年度】

令和元年度～

【予算額(千円)】

20,378千円（令和2年度）

【財源】

一般財源（市）

【事業実施に至った背景・経緯】

2025年、我が国は、第1次ベビーブームに生まれた「団塊の世代」が全て75歳以上となり、「超高齢社会」は新たな局面を迎えます。本市の高齢化も従前の予想を上回るスピードで進行しており、今後、医療・福祉・介護・生活

支援に対するニーズは、量・質の両面でますます増大・多様化していくことが想定されます。

このニーズに対応するための1つとして、中高年齢層の社会参加を促進し、市民一人ひとりが「生涯現役」として地域の中で活躍できるよう、就労、ボランティア、余暇活動の情報を集約・発信する「セカンドライフ支援センター」を開設しました。

【事業のPRポイント】

○ セカンドライフに関する様々な悩みに対応するため、キャリアコンサルタントによる相談やセカンドライフコーディネーターによる相談を行っています。自分に合った活動とは、どのようなものなのか、自分の思っている事を他の人に話すことで、具体化していくお手伝いをします。

※キャリアコンサルタント…労働者の職業の選択、職業生活設計又は職業能力の開発及び向上に関する相談に応じ、助言及び指導を行ういわゆるキャリアコンサルティングを行う専門家。月4回相談日を設けている。

※セカンドライフコーディネーター…中高年齢層の市民本人又は中高年齢層の市民を中心とした活動団体等からの相談に応じ、必要な指導、助言等を行う職員。

○ 様々なセカンドライフを紹介するイベントやセミナーの開催により窓口以外でもセカンドライフへの意識啓発を行っています。

○ その他、高齢者の生きがい推進として従来から実施しているシルバーポイント等の事業についても、相談や情報提供において積極的に活用し、セカンドライフ支援に繋げています。

【事業実績・成果・今後の展開】

＜令和元年度＞

○ 令和元年9月2日にセカンドライフ支援センターを開設しました。

○ セカンドライフに関する様々な情報を発信するウェブサイト「り・とら いふ Web」を令和元年12月に開設しました。

○ 中高年齢層の市民の方に様々なセカンドライフを紹介する「セカンドライフ応援フェア」を令和2年1月17日に開催しました。

＜令和2年度＞

○ 充実したセカンドライフを過ごす人の事例を紹介する「セカンドライフ応援ブック」を令和3年1月に発行、併せてオンラインでセミナーを開催しました。

<今後の展開>

- 引き続き、「セカンドライフ応援フェア」や意識啓発セミナーを開催し、生涯現役で活躍するきっかけとします。
- セカンドライフ支援に係る庁内外の機関との連携を強化していきます。

【参考資料】

- セカンドライフ応援ブック（令和2年度発行）

セカンドライフを啓発する目的で作成

- 学識経験者インタビュー
- 御自身でセカンドライフについて考えるページ
- 就労されている方へのインタビュー
- ボランティアされている方へのインタビュー
- 地域活動されている方へのインタビュー
- 生涯学習されている方へのインタビュー



- セカンドライフ応援フェア（令和元年度開催）



セカンドライフでの様々な活動を紹介

- 求人のある企業と直接相談できるブース
- ボランティア活動紹介コーナー
- シルバー人材センターや高齢者大学等の各種ブース

- り・とらいふ Web（令和元年度開設）

セカンドライフに関する様々な情報を発信

- ボランティア情報
- 求人情報
- 趣味・地域活動
- 事例紹介やイベント情報



〔 連絡先 〕

高齢福祉課 セカンドライフ支援センター
048(881)8627(直通)